

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 063	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 湘南ゴールドにおける葉の光合成産物の時期別転流について	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 湘南ゴールドは葉色の変化も大きく、隔年結果性も明らかに強い。常緑果樹の宿命は光合成能力があまり高くなく、また、冬季の光合成能力は極端に低く、連年結果が難しい。このため摘果によって結果部位や結果年次を調節しており、連年結果への対応は遅れている。これらを解決するためには、まず湘南ゴールドの生理代謝、栄養生理について基礎的に明らかにしておく必要がある。ここでは光合成性の特性について検討し、隔年結果性と葉色変化との関係について明らかにしてもらいたい。	
解決希望年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所
対応区分	実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可 <input type="checkbox"/>		
試験研究課題名 (、 、 の場合)			
対応の内容等 ご指摘頂いた要望課題については、当所でも湘南ゴールドの隔年結果性の生理的な面からの研究の必要性を認識しているところです。 要望課題の実施手法については、コンパクトなモデル樹の育成、及び炭素の安定同位体元素である ¹³ Cを用いることからやや経費がかかること、また、 ¹³ Cの分析機器が当所の本所にあることなどから、次年度課題で実施することは難しいとは思いますが、できる限り実施の方向で検討したいと考えております。			
解決予定年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>		
備考			